

東京外かく環状道路の建設中止に関する意見書（案）

東京外かく環状道路（関越～東名区間。以下「外環」という。）については、国民、都民からの批判が広がり、新政権の発足を前に、国土交通省は施工業者の選定に入れず、事業は事実上中断に追い込まれている。

そもそも、外環の建設計画は、高度成長期に右肩上がりの経済成長を前提に計画されたものである。本格的な高齢社会の到来と少子化の進展に伴い、自動車交通への依存からの転換が求められる今日、在り方そのものを見直すべきである。

国と都は、本体工事の方式を大深度地下方式に変更したが、地上部道路を含め 3,000 棟もの住宅の立ち退きや、湧水の破壊、自動車公害の増大などの環境悪化は避けられない。地元自治体からは疑義が出され、地域住民からは大きな不安や懸念、疑問、不信、反対の声が上がっている。

外環の事業費は、練馬区から世田谷区までの間 16 キロメートルで、地上部、地下部合わせて総額 1 兆 8,000 億円で、1 メートル当たりでは約 1 億円、東名以南を合わせると 3 兆 9,000 億円にも達する壮大なものとなっている。しかも、その財源として巨額の税金投入が予定されているが、今、行うべきは、貧困にあえぎ、不況に苦しむ国民、都民を救済することにほかならない。

よって、東京都議会は、国会及び政府に対し、外環の建設計画を直ちに中止するよう強く要請する。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 21 年 9 月 日

東京都議会議長 田 中 良

衆議院議長	}	あて
参議院議長		
内閣総理大臣		
総務大臣		
国土交通大臣		